

# 地方創生の概要について

## 1、地方創生の目的

人口減少に歯止めをかけることや、東京の一極集中を是正しそれぞれの地域で住みよい環境を確保し将来に渡って活力のある日本社会を維持する。

## 2、取り組む内容

国、地方共に将来展望を示す、「人口ビジョン」とそれを踏まえた5か年の「総合戦略」を策定し、雇用創出や人口減少に歯止めをかける施策を実施。

## 3、長期ビジョンと総合戦略について

### ◎長期ビジョン(過去～2060年まで)

- ・人口の現状分析(人口動向分析、将来人口推計)
- ・人口の将来展望(住民の結婚・出産・子育て等に関するアンケート調査等実施)

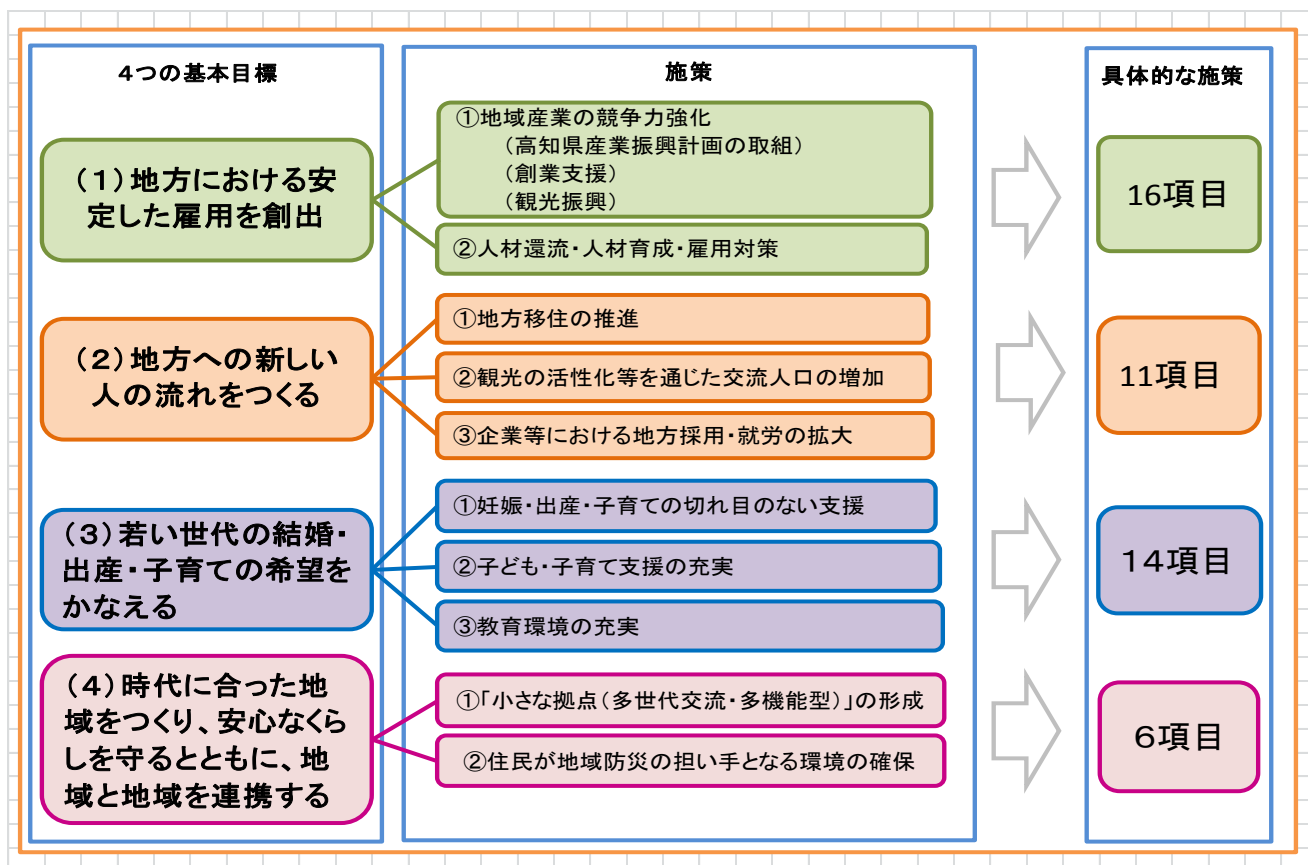
### ◎総合戦略(H27年度～H31年度までの5年間の計画)

- ・地方人口ビジョンを踏まえ、地域の実情に応じた5か年の目標や具体的施策をまとめたもの。
- ・目標を達成するための数値目標を設定する。
- ・毎年度検証し見直しを実施する。(PDCA)

## 4、国、高知県、香美市の計画概要

構成	人口ビジョン	総合戦略(基本目標)
期間	2060年までの推計	H27年度～H31年度までの5年間の計画
国	I 人口減少問題の克服 2060年に1億人程度の人口を確保 ◇人口減少の歯止め ◇東京一極集中の是正 II 成長力の確保 GDP成長率1.5～2%確保	<b>平成26年12月策定</b> 1、地方における安定した雇用を創出 ・地方に30万人の若者の雇用を創出 2、地方への新しいひとの流れをつくる ・東京圏から地方への転出・転入を均衡 3、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる 4、時代にあった地域をつくり、安心なくらしをまもるとともに、地域と地域を連携する
県	策定中 ①少子化対策に関する意識調査 ②就職地、進学地に関する希望調査 ・県外の本県出身大学生、短大生 ・県内の大学生、短大生、高校生	<b>平成27年度版(3月策定)</b> 1、地産外商により安定した雇用を創出する 2、新しい人のながれをつくる 3、若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する 4、コンパクトな中心部と小さな拠点との連携により人々のくらしを守る
市	策定中 I 人口の現状分析 ・人口動向分析、将来人口の推計と分析 II 人口の将来展望 ・結婚、出産、子育て、移住等に関する調査 ・人口の将来展望	<b>◎骨格案(3月策定)</b> ⇨ <b>完成版(9月)</b> 1、地方における安定した雇用を創出 2、地方への新しいひとの流れをつくる 3、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる 4、時代にあった地域をつくり、安心なくらしをまもるとともに、地域と地域を連携する

## 5. 香美市総合戦略(仮称)の骨格案



## 6. 香美市総合戦略策定スケジュール等について

項目	月	平成27年												備考		
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
戦略	ビジョン (意識調査等実施)														◎完成	
	総合戦略														◇パブリックコメント ◎完成版	状況に応じて 変更
策定 体制	庁内組織 (本部、推進チーム)															
	審議会 (産官学民金等)															

## 7. 振興計画との関連について

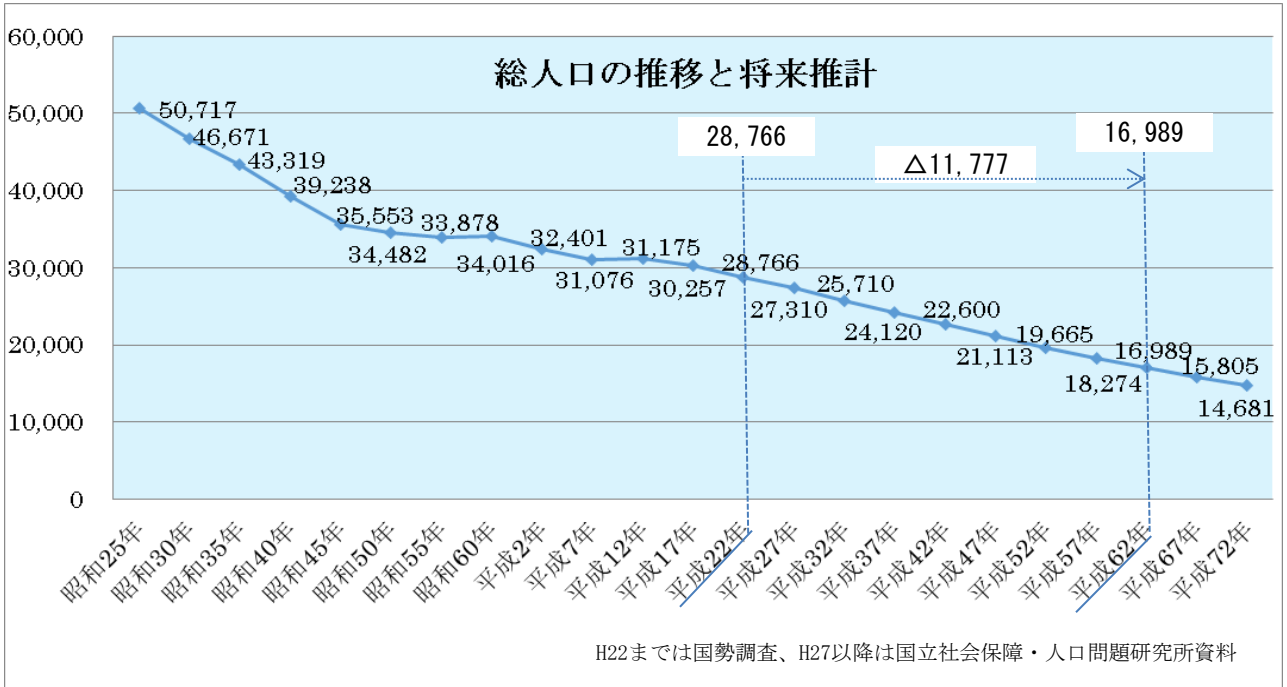
総合戦略の計画期間は、香美市振興計画の計画期間とは異なりますが、市では総合戦略は振興計画の目標を実現する計画と位置付けています。

計画	年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33						
①香美市振興計画	第1次後期								第2次 前期計画					
②総合戦略														

## 8. 香美市人口等の現状

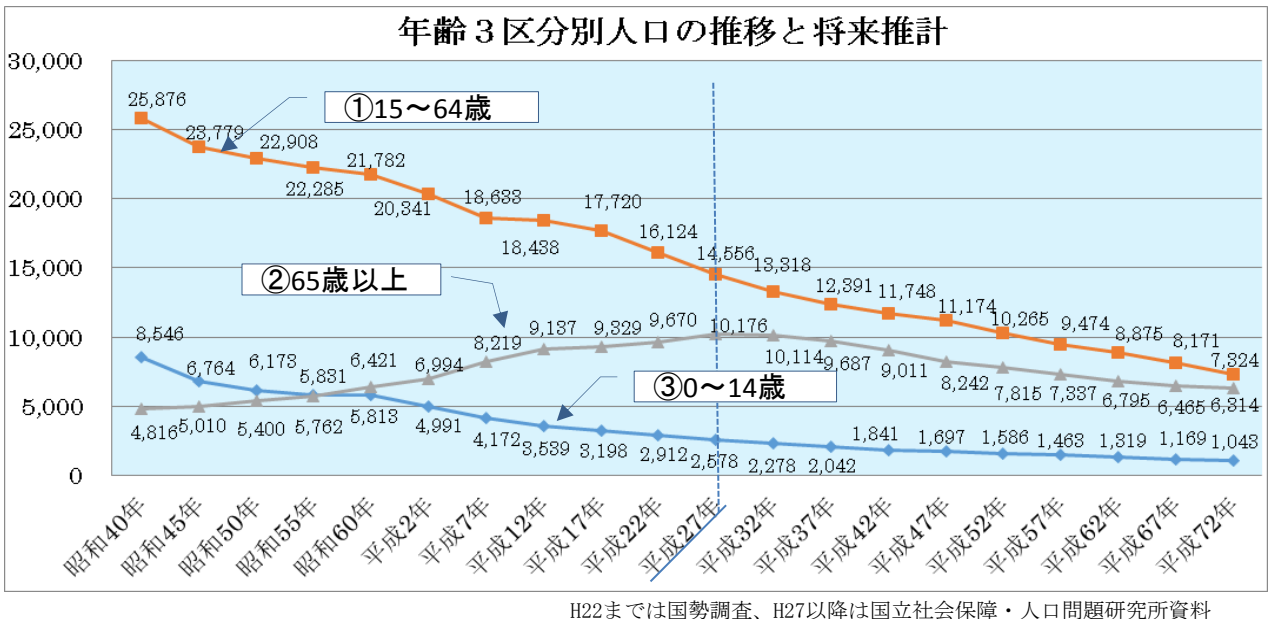
### 1) 総人口の推移と将来推計

平成22年人口28,766人が平成62年に16,989人となり、40年間で11,777人減少(年間290人程度の減少)すると推計されている。

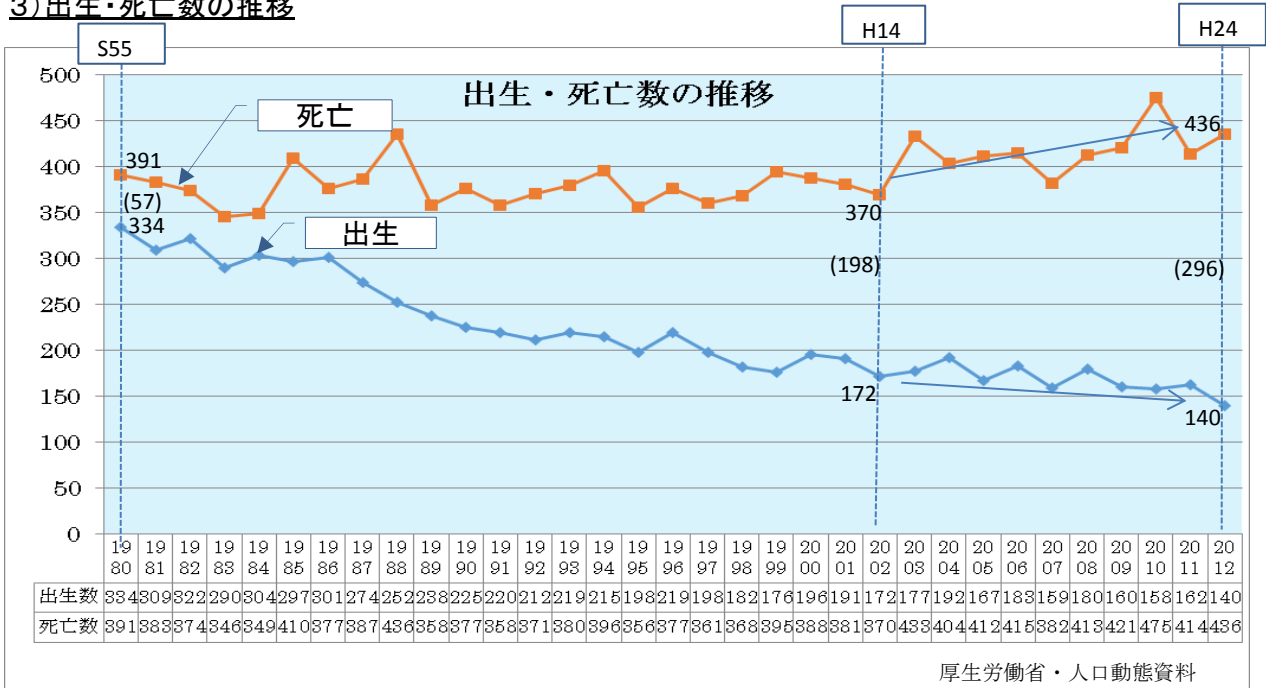


### 2) 年齢3区分別人口の推移と将来推計

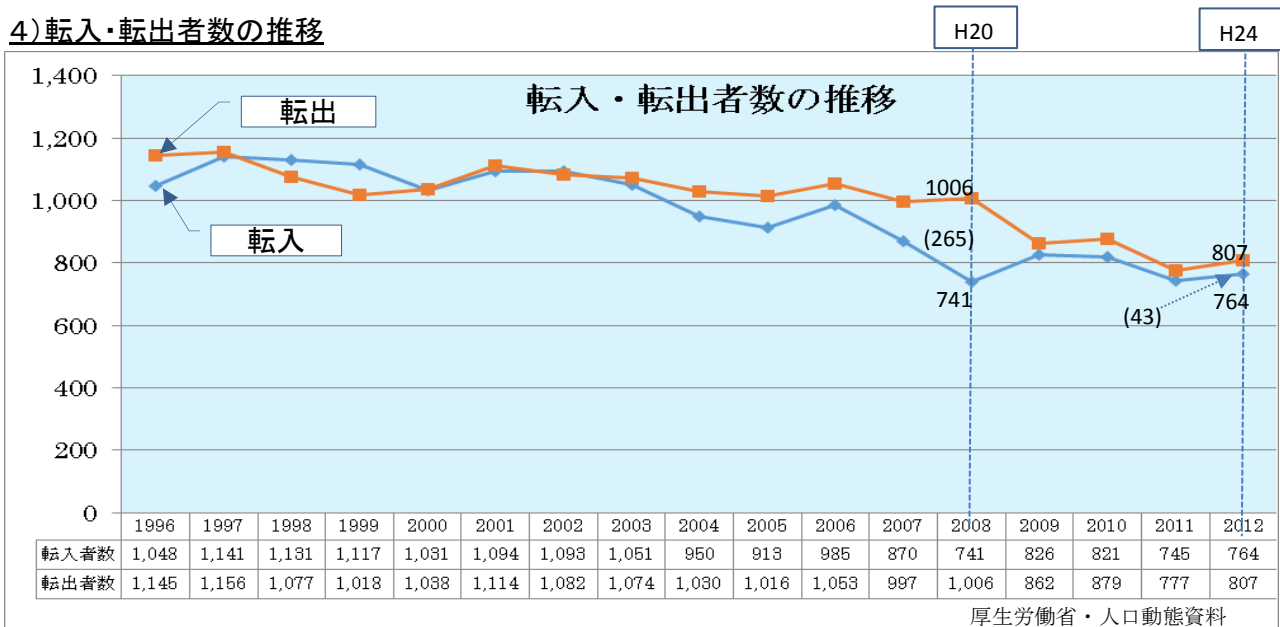
①15～64歳の生産年齢人口及び③0～14歳の年少人口は減少が続く。②65歳以上の高齢者人口は増加し平成29年がピークでその後減少。



### 3) 出生・死亡数の推移



### 4) 転入・転出者数の推移



### 5) 若年女性(20~39歳)の将来推計

①研究所推計では、地方から大都市への人口流出は2020年までに落ち着くと推計しているが、②創成会議は大都市で医療・介護分野の求人が増えるため、地方からの流出が続くと仮定している。

①国立社会保障・人口問題研究所推計					②日本創成会議試算				
2010年 (平成22年)		2040年 (平成52年)		若年女性 人口 変化率	2010年 (平成22年)		2040年 (平成52年)		若年女性 人口 変化率
総人口	20~39歳 女性	総人口	20~39歳 女性		総人口	20~39歳 女性	総人口	20~39歳 女性	
28,766	2,481	19,664	1,433	△42.2%	28,766	2,481	19,204	1,276	△48.6%
● → Δ 1,048					● → Δ 1,205				